HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	はしがき
Author(s)	湊, 真一
Relation	2010年度科学技術振興機構ERATO湊離散構造処理系プロジェクト講究録. p.i-ii.
Issue Date	2011-06
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/48485
Type	other
File Information	Preface.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

はしがき

(独)科学技術推進機構(JST) ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトは、2009 年 10 月に発足し、半年間の準備期間を経て、2010 年 4 月より実質的な研究活動を開始した。本講究録は、2010 年度に本プロジェクトで実施された各種のセミナ、ワークショップ、シンポジウム等での発表概要および講演資料をまとめたものである。

本プロジェクトでは、独自の取り組みとして、離散構造処理系に関連する国内外の有力研究者を招いて最新の研究紹介と討論を行う「ERATO セミナ」を、定期的に開催している。このセミナはあらかじめ登録された「ERATO セミナ会員」宛に、電子メールにより毎回の開催案内が送付され、発表タイトルに興味を持った人は、事前に申し込みすることなく自由に参加することができる。また、会員の紹介があれば誰でもセミナ会員に加入できる。本セミナは、メイン会場の北大 ERATO オフィスだけでなく、東京地区・大阪地区のサテライト拠点にも、高臨場感の TV 会議システムで生中継され、遠隔地からもストレスをあまり感じることなく割り込んで質問や議論を行うことができる。多くの場合、札幌をメイン会場とするが、東京または大阪をメイン会場として他地区に中継する場合もある。

本プロジェクトが実質的な研究活動を開始した 2010 年度だけで、実に 39 回の ERATO セミナが開催され、基礎理論から応用技法に至る幅広い内容について、自由闊達な議論が展開された。毎回の開催案内が送られる ERATO セミナ会員は 2010 年度末の時点で 200 名を超えており、発表タイトルに応じて毎回 15～40 名程度が札幌・東京・大阪のいずれかの会場に出向いて参加している。学会で座長を務めるような著名研究者も多数、常連で聴講参加しており、質疑応答のレベルも高く、発表者、聴講者ともに大いに知的な刺激を受けて満足感を得られることが多い。このようなセミナを継続的に実施することにより、アルゴリズムに関連する情報科学分野の研究者が、既存の研究分野の枠を超えて、離散構造処理という観点で新たな共通項を見出し、これまでなかった横糸が形成されて、研究者のネットワークが再構成されつつあることを感じている。

本プロジェクトでは、上記の定例の ERATO セミナの活動に加えて、プロジェクトメンバ・共同研究者・連携研究者が一堂に会して集中討論を行うワークショップ・シンポジウムを年間数回開催している。(一部は関連学会との共催を含む。) 2010 年度の開催実績は以下の通りである。

- 「ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト 2010 年度 春のワークショップ」
  (別称:ERATO キックオフシンポジウム)
  開催日:2010 年 5 月 28～29 日　会場:北海道大学 ERATO オフィス

- 「ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウム(第1回)」
  (第 9 回情報科学技術フォーラム(FIT 2010)イベント企画セッション)
  開催日:2010 年 9 月 8 日　会場:九州大学 伊都キャンパス

- 「ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト 2010 年度 初冬のワークショップ」
  (別称:ERATO 合宿)
  開催日:2010 年11月 29 日～12 月 1 日　会場:札幌北広島クラッセホテル

- 「ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトシンポジウム(第2回)」
  (第 73 回情報処理学会全国大会 イベント企画セッション)
  開催日:2011 年 3 月 2 日　会場:東京工業大学 大岡山キャンパス

本講究録には、上記のワークショップ・シンポジウムの発表資料についても、公表可能なものを収録している。さらに参考資料として ERATO プロジェクトの 2010 年度の対外発表文献リストも掲載した。

本プロジェクトの概要と最近の活動内容については、プロジェクトのホームページ(http://www-erato.ist.hokudai.ac.jp)において随時公表している。また下記の文献でも紹介しているので、興味のある方は参照いただければ幸いである。

- 湊　真一: "BDD/ZDD を基盤とする離散構造と演算処理系の最近の展開," 電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ Fundamentals Review, Vol. 4, No. 3, pp. 224-230, Jan. 2011. (http://w2.gakkai-web.net/gakkai/ieice/vol4no3.html)
- Shin-ichi Minato: "Overview of ERATO Minato Project: The Art of Discrete Structure Manipulation between Science and Engineering," New Generation Computing, Vol. 29, No. 2, pp. 223-228, Ohmusha and Springer, Apr. 2011. (invited paper) (http://www.ohmsha.co.jp/ngc/index.htm)

この講究録は、本プロジェクトの今年度の研究成果を単に取りまとめただけでなく、離散構造処理系に関連する情報科学の研究のネットワークの一端を示すリンク集として活用されることを望んでいる。本書が今後の研究の発展に寄与すれば幸いである。

2011 年 6 月吉日

ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト
研究総括　湊　真一